

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2004-135335(P2004-135335A)
 【公開日】平成16年4月30日(2004.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報2004-017
 【出願番号】特願2003-348448(P2003-348448)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/16 (2006.01)

H 0 4 H 1/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/16 A

H 0 4 H 1/02 E

H 0 4 N 5/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月2日(2006.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サービスオペレータにより提供されるマルチメディアデジタルデータにアクセスするために少なくとも1つのデコーダ(1)を遠隔的に非アクティブにするための方法であって、デコーダはデコーダからオペレータに接続する通信ネットワーク(3、4)を通じてオペレータが送信するオペレータに既知の特殊な識別子(ID)をもち、ソフトウェアの一部又は全てを破壊するための破壊コマンド(Cmd(ID、非アクティブ))はデコーダに組み込まれ、前記破壊コマンドはオペレータにより指定された特殊な識別子を用いてデコーダにアドレスされる、ことを特徴とする方法。

【請求項2】

マルチメディアデジタルデータにアクセスするためのデコーダ(1)であって、デコーダがデコーダにアドレスされた破壊コマンド(Cmd(ID、非アクティブ))を受信するときにデコーダに組み込まれたソフトウェアの一部又は全部を消去するために適切な消去器ソフトウェアモジュール(46)から構成される、ことを特徴とするデコーダ。